

東海道線列車運行不能時における対策等検討状況について

平成27年1月14日
日本貨物鉄道株式会社

昨年10月6日に発生した東海道線由比～興津間土砂崩壊に伴い、同区間において同月16日まで列車の運行が不能となり、お客様をはじめ関係の皆様には多大なるご迷惑をお掛け致しました。

今般当社では、今後同様の事態が発生した場合に、より一層の代替輸送力の拡大及び、より迅速な対応策の実行を行なうことを目的として、以下の対策を検討することとしました。

今後、検討した結果の対策について着実に実施することにより、貨物列車の運行に関して、より一層安全・安定輸送の向上に努めてまいります。

1. 昨年10月東海道線土砂崩壊影響の概要

- (1) 発生日時 平成26年10月6日 午前8時59分頃
- (2) 発生箇所 東海道線 由比～興津間
- (3) 運転再開日時 平成26年10月16日 午前5時22分
- (4) 延べ運休本数 858本
- (5) 今回実施した対応策
 - ① トラック代行（2区間片道最大12ftコンテナ換算200個）
 - ② う回列車の運転（最大時4区間4往復）
 - ③ 定期列車の接続（1区間）
 - ④ 区間列車の運転（最大時7区間8往復）
- (6) 提供輸送力 最大時往復2, 160個/日（通常時の約20%）

2. 今後検討する対策

- (1) 輸送力確保及び輸送計画策定
 - ① 代替輸送力・輸送手配シミュレーション
 - ・今後の不測事態を想定し、代替輸送力、折返し計画等の輸送手配シミュレーションを策定
 - ② 大型コンテナ荷役作業改善
 - ・予め貨物駅の積卸体制及び時間等の一覧表を作成
 - ・主要E&S駅での大型コンテナ荷役作業実施の問題把握及びその改善
 - ③ 船舶輸送の検討
 - ・船舶輸送の効率的な利用、弾力的手配の可否等の検討
- (2) 輸送機材・要員
 - ① 輸送機材のリダンダンシー
 - ・汎用性のあるEH500形式電気機関車の主要線区入線確認検証
 - ② 危機管理上の予備機関車配置の検証
 - ・う回輸送体系を予め想定し、危機管理上の予備機関車配置要否検証

(3) トラック代行輸送

① 大型コンテナ通行ルート拡充

- ・大型コンテナ通行許可（特殊車両申請）を予め行うよう、利用運送事業者各社に対し働きかけを実施

② コンテナアクセスマップの改定

- ・(公社) 全国通運連盟発行「コンテナアクセスマップ」の修正要請実施

(4) システム・電算関係

① 異常時用システムマニュアルの整備及び異常時電算担当の指定

② F R E N S（貨物情報ネットワークシステム）性能向上・システム改修

③ 異常時対応のためのシステム教育の充実

(5) 大型コンテナ輸送への対応

① 大型コンテナ輸送マップの作成

- ・各線区の大型コンテナ輸送を見える化
- ・主要線区における大型コンテナ一覧表作成

(6) その他

① 関係旅客会社・行政機関への要請

- ・土砂流入等災害リスクを未然に防止する観点から、関係旅客会社・自治体への対策要請を実施

3. 検討及び対策実施時期

概ね本年度内に検討を実施し対策を策定したうえで、来年度末を目途に策定した対策を実施してまいります。